



第135号

Nirasaki city council

蕨崎市議会だより

発行：平成20年2月25日

- 発行所 山梨県蕨崎市議会 〒407-8501 山梨県蕨崎市水神一丁目3番1号TEL.0551-22-1111(代)
- 発行人 蕨崎市議会議長 石井 錦一 ●編集 蕨崎市議会だより編集委員会 ●印刷 (有)タクト



改築なった西中学校



成人式の会場にて

第4回定例会 平成19年12月

会期日程表（会期12日間）

12月

- 10日[月] 本会議（開会、諸報告、市長所信表明）
- 11～16日 議案調査
- 17日[月] 本会議（一般質問）
- 18日[火] 本会議（一般質問）
- 19日[水] 本会議（議案審議）委員会
- 21日[金] 本会議（議案審議、委員長報告、閉会）

条例・予算等を審議

平成十九年第四回蕨崎市議会定例会は、十二月十日に招集され、会期を十二月二十一日までの十二日間と定め、審議を行いました。

開会日には、諸報告のあと横内市長の所信表明が行われ、主要事業と今定例会に提出される各議案の概要説明が行われました。

今議会で審議された案件は、条例案件六件、予算案件四件、認定案件十六件、その他案件五件で、いずれも原案どおり可決及び承認・認定・同意されました。

主な議案の内容

条例

「**葦崎市職員給与条例の一部を改正する条例**」

人事院給与勧告に基づく国家公務員の給与改定に伴い、市職員の給与も国に準じて改正しました。

（扶養手当六千円→六千五百円）等

「**葦崎市消防団条例の一部を改正する条例**」

消防団員の年齢規定（上限の廃止）及び男子規定を廃止する等の改正をしました。

「**葦崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例**」

国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令により、老齢等年金給付を受けている六十五歳以上の国民健康保険の被保険者である世帯主の場合に、当該世帯主に対して課される国民健康保険税を特別徴収の方法により徴収するための改正を行いました。

「**葦崎市都市公園設置、管理及び使用料条例の一部を改正する条例**」

都市公園の管理について、指定管理者制度を導入することができるよう、必要な事項を定めました。

「**葦崎市持家住宅普及促進支援条例の一部を改正する条例**」

引き続き持家住宅の建設促進支援を実施するため、本条例の有効期間「平成二十年三月三十一日」を「平成二十三年三月三十一日」までとしました。

予算



平成十九年度補正予算については、原案のとおり補正すべきものと決しました。

「**一般会計補正予算（第三号）**」

歳入歳出予算それぞれ七億三千九百二十一万円を増額補正し、現計予算額は百三十二億三千九百九千円となりました。

主な内容

・ 西中学校改築事業
八億三千八百四十四万円増（平成二十年度予定の体育館等について、今年度着手することとしました。）

・ 六山公民館建設事業
一億二千七百七十四万五千円減（平成二十年度に実施することとなりました。）

「**国民健康保険特別会計補正予算（第二号）**」

葬祭費支給対象者の増などにより、八百二十七万二千円を増額補正しました。

「**介護保険特別会計補正予算（第一号）**」

職員給与費の改定などによる増額や施設介護サービス給付費の減額などにより、千六百万円を減額補正しました。

《**職員給与費の改定に伴う補正**》

「**簡易水道特別会計補正予算（第一号）**」

百四十五万五千円減額

「**下水道事業特別会計補正予算（第二号）**」

百七十九万円増額

「**介護サービス事業特別会計補正予算（第一号）**」

五百八十七万円減額

「**水道事業会計補正予算（第二号）**」

三百十六万八千円増額

人事

「**葦崎市固定資産評価審査委員会委員の選任**」

志村英文氏（穂坂町）の任期が満了になることから、後任者の選任について、市長より議会の同意を求める提案がされ、志村氏を再任することに同意しました。

その他

「**葦崎市土地開発公社定款の一部変更について**」

関係法律の施行により、郵便貯金等の用語を削除しました。

「**市道の路線廃止について**」

圃場整備等の実施に伴い、五十三路線を廃止しました。

「**市道の路線認定について**」

圃場整備等の実施に伴い、七十二路線を認定しました。

議会を傍聴してみませんか！

定例会は、どなたでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

三月定例会（予定）

三月 三日 開 会
三月 十日 一般質問
三月 十二日 一般質問
三月 十三日 議案審議
三月 十九日 閉 会

日程などについては、定例会前の議会運営委員会で決定しますので、決まり次第議会ホームページなどでご案内します。詳しくは、議会事務局まで

清水 正雄 議員
「葦政クラブ」



(主な質問と答弁)

●「片倉工場跡地の開発」について

質問 横内市政になり、駅前にパチンコ店やゲームセンタ

ーでは好ましくないとする理由で、開発業者と協議の上、パチンコ店の位置の変更が決まった経過があります。民有地の開発には口出しできないという前の市当局の姿勢から、民有地の開発事業にも問題があれば口を出すという、いわば路線転換を示した一件と理解してよろしいか伺います。

答弁 横内市長

これからの厳しい行財政運営の中で、市民にとっても、事業者にとりましても、相互におけるメ

▼ 質問事項

- 1 市長の基本姿勢について
市町村合併について
人口増対策について
人事について
- 2 経済活性化対策について
企業誘致の戦略について
東京エレクトロン主軸製造部門の移転について
中心市街地の再生について
チェーン店などに商店街等の加入を条例化することについて
- 3 葦崎駅前の将来展望について
片倉工場跡地の開発について
ショッピングセンター「ルネス」の空店舗対策について
- 4 副市長による街づくりの基本理念について
- 5 観光行政の課題について
特急かいじの発着駅を葦崎駅まで延長することについて
特急料金の改訂について
観光案内標識の設置について
ユニークな教育の一環として児童・生徒の登山体験について
- 6 葦崎市社会福祉協議会の運営について
- 7 学校校庭を市民に開放することについて
- 8 ごみの分別収集と減量化について

リットを維持することが重要であり、そのためには、行政がコーディネート役を果たすことが求められていると認識しております。



片倉工場跡地

●「ショッピングセンター(ルネス)の空店舗対策」について

質問 オギノが撤退後、四ヶ月経過しましたが、核店舗不在のままであり、中心市街地からすべてのスーパーマーケットが消えたことになりました。

現在の情報として、スーパーマーケットの入居の見込みはあるのか伺います。

答弁 横内市長

ルネスを運営する峽北商業開発株式会社、葦崎市ショッピングセンター協同組合において、核テナントとしての食品業態の導入について、鋭意努力されておりますが、現在も大変厳しい状況下にあると伺っております。

現状では、ルネス側の申し入れがあった時点で、その後の施設活用の方法について、行政としての対応を協議、検

討してまいる考えであります。

●「企業誘致の戦略」について

質問 企業誘致を促進するためには、根気のいる受け皿づくり、ハード、ソフト面

にわたってインフラ整備が必要ですが、現在における受け皿はどんな内容なのかお示しいただくとともに、企業誘致を成功させるための戦略はどのように描いているのか伺います。

答弁 横内市長

現段階での工場適地としては、御勅使地区三・二ヘクタールの用地を対象候補地として選定し、重点区域に位置づけてまいりたいと考えております。

また、開発窓口の一元化とともに、企業ニーズの収集、スピーディーな対応等に努め、

地元協議等を密に行いながら、企業誘致の促進強化を図ってまいります。

(関連質問)

『西野賢一議員』

・学校校庭を市民に開放することについて

・ごみの分別収集と減量化について

『野口紘明議員』

・葦崎市社会福祉協議会の運営について

・ごみの分別収集と減量化について

『清水 一議員』

・市町村合併について

・片倉工場跡地の開発について



(主な質問と答弁)

●「荒廃農地」について

質問 荒廃農地は、遺産相続による農地の分散と高齢者の所有する耕作放棄地であり、農道もなく機械も入れない急傾斜地にあります。これらの土地が、現在、優良農地とされておりますが、管理が大変であり、優良農地から削除したかどうか考えます。

答弁 横内市長 荒廃農地をなくすため、農地の基盤整備と流動化をすべきと思いますが、市長の考えを伺います。

答弁 横内市長 荒廃農地の解消を図るため、昨年度、遊休農地等利用促進補助金制度を制定し、農業委員会、農地銀行推進員を中心に遊休農地解消に向け、農地の流動化を進めております。

▼ 質問事項

- 1 認定農業者の支援について
- 2 荒廃農地について
- 3 農業用水路の環境整備について
- 4 農道の整備について
- 5 葦崎インターチェンジより20号線までの道路整備について
- 6 穂坂町への企業誘致について
- 7 土地開発公社の保有する穂坂町の学園用地について
- 8 穂坂小学校の放課後児童教室と児童館建設について
- 9 地震対策について
- 10 市立病院の運営状況について
- 11 助産師による診療について
- 12 県射撃場の移転について

なお、穂坂町台上については、平成三年度より農業基盤整備事業を導入し、農地の流動化を推進しているところがあります。

今後さらに、地権者の合意形成が得られるならば、基盤整備事業を実施し、農地の集積化と荒廃農地の解消に努めてまいります。

●「穂坂町への企業誘致」について

質問 穂坂地区には多くの企業がありますが、さらに地域の有利性を生かし、企業誘致を進め雇用を高めないと他地区への若者の流動化が進みます。市においても、県同様、プロジェクトチームを立ち上げ、県と一体となって企業誘致に取り組みべきだと考えますが、市長の所見を伺います。

答弁 横内市長

現在、県、市町村、地元商工団体等により構成する地域産業活性化協議会に参画しております。また、本年度の機構改革で商工観光課を新設し、積極的に企業誘致に取り組んでいるところであります。

穂坂地区においても、地理的優位性を生かし、開発を促進してまいる考えであり、穂坂地区のポテンシャルを最大限に発揮できる企業誘致に向けて、庁内を横断的に連携するプロジェクト体制で臨んでまいります。

まいります。

●「穂坂小学校の放課後児童教室と児童館建設」について

質問 放課後子ども教室は、体育館の空き部屋を使用しており、毎日二十五人以上の子どもが利用しておりますが、

今の一室では狭く窮屈であり、環境に問題があると思いますがいかがでしょうか。

次に、児童館建設は、穂坂地区の願いであり多くの要望があります。また、公民館としてコミュニティセンターがありますが、二階のため高齢者には不便で、障害者は利用できません。改造すると多額の費用がかかり、効率が悪いと思いますので、児童館と公民館を複合施設として建設すべきと思いますが、考えを伺います。

答弁 内藤教育委員長 子ども教室は、図書館、体育館、グラウンドを含めた中で総合的に効率的な運営をしておりますので、ご理解願います。

答弁 内藤教育委員長

子ども教室は、図書館、体育館、グラウンドを含めた中で総合的に効率的な運営をしておりますので、ご理解願います。



穂坂コミュニティセンター

答弁 奥水教育長

児童館の建設については、保育園の統合問題とあわせ、本年度から実施している放課後子ども教室の状況も見極めながら、地域の皆様や保育園統合構想検討委員会のご意見をお聞きする中で、複合施設についても検討してまいりたいと考えております。

(関連質問)

『野口紘明議員』

・助産師による診療について

『清水 一議員』

・土地開発公社の保有する穂坂町の学園用地について

望月 正澄 議員
「葦和クラブ」



(主な質問と答弁)

●「穂坂町内学園用地利活用」について

質問 葦崎市が学園用地として昭和六十年に取得した、穂坂町地内の市有地が二十二年たった今でも手付かずのままであり、いわゆる塩漬け土地となつています。

平成十八年度末の状況は、所有面積十五万五千四百七十六坪、用地費、諸経費、二十二年間の支払利息、帳簿価格等を合わせますと取得したときの倍近い一坪単価(三千百六十五円→五千八百八十四円)となつてしまいました。

そこで、現在の土地実勢価格は、いくらになっているのか。書類上は土地開発公社の所有となつているが、債務保証も含めて市の借金として

▼質問事項

1 市長就任一年を経過して市長就任一年を経過しての感想、手応えについて
二年目へ向けての抱負と重点政策について

2 穂坂町内学園用地利活用について
現在の土地実勢価格はいくらか
損失を市で補てんし購入しては学園用地利活用について

3 一般競争入札導入について

4 公共事業のより効率的な事業推進について

5 下水道事業全体計画見直しについて

6 国民健康保険税値上げ後について

7 集落の維持について
限界集落について
葦崎市空き家バンク制度について

8 企業誘致について

9 教育問題について
全国学力テストについて
総合的な学習の時間(総合学習)について

10 障害者施策推進協議会の設置について

とらえ、市債を投入して全額補てんし購入する措置を講じるべきと考えるが見解は。

地元の住民を巻き込み、協働のもと森林を生かした利活用策を探るべきだが、市長の見解を求めます。

答弁 横内市長

購入時は、不動産鑑定による価格だが、現在の土地実

勢価格は、税務署が相続税に用いる価格で算出すると、坪単価千五百五十円である。昨年度より金利負担の軽減を図るため、土地開発基金を活用した無利子の貸し付けを行っている。西中学校改築等の大型事業が終了した後、損失補てんの具体的な方策を検討する。今後、赤松を広葉樹に転換するなど自然環境に配慮した中で、誰もが気軽に訪れ、自然観察や景観が楽しめる場所として利活用していく考えであります。

●「一般競争入札導入」について

質問 一定の条件を満たせば希望する業者が入札に参加できる一般競争入札の拡大は、国の入札契約適正化指針の中で求められていますが、市長

が平成十九年第一回定例会で答弁した、平成十九年度の試行、平成二十年度の本格実施の状況について伺います。

答弁 横内市長

本年度、葦崎市一般競争入札事務取扱要綱を整備し、本年度第4四半期から試行の上、平成二十年度より本格実施の予定であります。

●「公共事業のより効率的な事業推進」について

質問 現在、市内各所で、一カ所の工事が何年もかけて、継続事業として進められています。昨今の公共事業費削減に伴い、市民ニーズが多様化する状況下で、従来の公共事業費の配分方法を改め、より効率的な事務事業執行が求められて

限られた予算に加え、公共

事業に対する多くの市民要望が寄せられている中で、平成二十年度予算の編成作業にあたり、経費削減等、より効率的な事業推進の考えはあるのか伺います。

答弁 横内市長

単独公共事業の事業推進については、過去五年間の地区別、工事別の実施状況を分析し、まず要望箇所の優先順位、費用対効果等、客観的公正に行い、地域住民のご理解とご協力をいただき、集中と分散によるローコストで、より効率性の高い社会基盤整備に努めてまいります。

(関連質問)

『一木長博議員』

・教育問題について
・公共事業のより効率的な事業推進について



穂坂町内学園用地

岩下 良一 議員
「共伸クラブ」



(主な質問と答弁)

●「横内市長の公約・重点施策の推進並びに進捗状況」について

質問 市長が掲げられた公約・重点施策について、どのような政策を講じ、推し進めてこられたのか。また、今後はどのように推進されていくのか伺います。

答弁 横内市長

市民の皆様は約束した政策の実現にあたりまして、限られた財源を効率的・効果的に執行するため、「選択と集中」を図る中、市民生活に直結した施策を重点的に実施しているところであります。

今後の施策展開については、策定中の長期総合計画に位置づけ、多様なニーズに合わせた保育サービスの充実やファ

▼質問事項

- 横内市政の公約・重点施策の推進並びに進捗状況について
- 葦崎大村美術館について
- 道路行政と地域要望事業の実施方策について
船山橋北詰の渋滞緩和策について
市道竜岡18号線の今後の計画について
地域要望事業の採択基準について
- 行政改革の取り組みについて
- 商業をはじめとする産業振興施策について
片倉工業株式会社とキリンビール株式会社の跡地利用について
「元気な葦崎再生プロジェクト事業」について
- 高齢者医療の負担について
- 市内中学校遠距離通学補助制度について

ミリーサポート事業の拡充による子育て支援、心の教育の強化、生涯学習の充実、定住人口の増加等、実施している各種施策の積み重ねにより、元気で活力ある葦崎市の実現に最大限の努力を傾注してまいる考えであります。

ける段階において、管理方法等を協議した上で、早い段階で市としての方針を決定してまいります。
維持管理費については、同規模の施設を参考に、本年度の運営実績を踏まえながら、予算を計画してまいる考えであります。

●「葦崎大村美術館」について

質問 ふるさと葦崎、あすの葦崎を担う子どもたちのため、大村智氏が私財を投じ美術館を建設されました。この施設とともに、多くの美術品を近い将来、本市に寄贈くださると聞いておりますが、今後のスケジュールと美術館に係る経常的経費はどの程度見込まれているのか伺います。

●「船山橋北詰めの渋滞緩和策」について

質問 国道三路線がクロスする地点であるため、朝夕の渋滞は慢性的な状況にあり、地域住民はもとより、通勤通学される多くの市民から解消策に大きな期待が寄せられています。この改善について、どのような検討がなされているのかお聞かせください。



船山橋北詰交差点

●「市道竜岡十八号線の今後の計画」について

質問 国道五十二号線が仮に廃止される場合、この路線に国道にかわる路線として大きな役割が新たに生じると思いますが、どのような計画・検討がされているのか伺います。

きかけを行ってまいります。

喫緊的課題であり、現在要望している国道二十号線の渋滞緩和とあわせて、国土交通省及び県に対し、機会あるごとに働

答弁 横内市長
現在、峡北広域行政事務組合が、地元地権者との同意に向け協議を進めているところでありますが、全体延長二千二百mで、幅員を七mに整備する計画であります。

●「地域要望事業の採択基準」について

質問 市内多くの地域から、道路整備をはじめ様々な要望があると思いますが、要望に対する採択基準はあるのか伺います。

答弁 横内市長

過去の実施状況を分析し、優先順位や費用対効果等を客観的公正に行いますが、用地の提供など地区の協力が得られることが採択基準の前提にありますので、ご理解願います。

(関連質問)

『山本雄次議員』

・行政改革の取り組みについて
・市内中学校の遠距離通学補助制度について

秋山

泉 議員
「共伸クラブ」



(主な質問と答弁)

●「商工業」について

質問 ショッピングセンタールネスは、相次ぐ核店舗の撤退により、往時の繁忙時の様子から大きく様変わりをしてまいりました。ルネスに入居している組合員の方々は、一番早急な問題は、とにかく核となる店舗、食料品店が欲しいと言っておられます。



ショッピングセンタールネス

このような状況下、市当局はどのようなお考えなのか伺います。

答弁 横内市長

現在のところ、従来型の商業施設としての活用は大変難しいものと伺っております。今後については、ルネス側からの申し入れがあった時点

で、市民の意向、ニーズ等を集約し、長期的なまちづくりの形態も考慮しながら、適切に対処してまいりたいと考えております。

●「甘利山の将来」について
質問 甘利山は、葦崎市にも市民にとつても、大事な大切な自然文化遺産であります。都ざさ(クマザサ)や温暖化によるツツジ、スズラン等への被害は、その存亡が危ぶまれております。
このような状況下、自然観光の目玉の筆頭に挙げている甘利山の現状と対応、将来への対策はどうするのかについてお尋ねします。

答弁 横内市長

近年、甘利山クラブをはじめとする各種ボランティア団体の協力のもと、都ざさ刈り等の推進により、往年の状態に戻りつつあります。

今後については、各種ボランティア団体と共同歩調をとりながら、自然環境保護に努めてまいります。

▼質問事項

1 観光行政について

甘利山の将来について
県道甘利山公園線の整備について
甘利山クラブ(ボランティア団体)の活動について

茅ヶ岳山麓について
深田祭の見なおしと深田公園の整備について

登山家平賀文男翁の顕彰碑の建立について

葦崎平和観音の維持管理について

鳳凰トンネル(仮称)の開削について

2 商工業について

駅前開発に伴うショッピングセンタールネスの現状と今後の見通しについて

3 教育行政について

穂坂児童館設立について

穂坂宮久保地区公民館建設について

葦崎高等学校への国際スポーツ科の新設について

登山スポーツ少年団の設立について

●「茅ヶ岳山麓」について

質問 山開きの祭りとして発展してきた深田祭も、二十六年を数えるとマンネリ化の様相は避けられず、何かしら新しい工夫の必要性を感じます。そこで、大正から昭和初期に南アルプス登山の黎明期に活躍された、地元三ツ沢の登山家、平賀文男氏の顕彰碑を建立したいと考えております。

今後の対応、また、祭り自体の展望について、市長のお考えを伺います。

答弁 横内市長

深田祭は、深田久弥先生を偲ぶ碑前祭と茅ヶ岳記念登山を行い、全国の登山愛好家が多数参加しております。このため、祭りは今後も継続することとし、その内容については、祭りに協力頂いている白鳳会、地元自治会等と十分協

●「葦崎平和観音の維持管理」について

議を行い、全国に誇れる祭りにしたいと考えております。
平賀文雄翁の顕彰碑の建立については、関係者の皆様で組織する実行委員会などにより建立されることを願っております。

質問 平和観音の清掃については、富士見ヶ丘自治会とリバーエレクトクの社員が、月に一度ずつ奉仕作業で行っていますが、これでは間に合いう状況にありません。平和観音の維持管理の所管はどこなのか、お聞かせください。

答弁 横内市長

この所管は、建設課となっております。清掃管理活動においては、さらなる環境整備強化に向け、アダプトプログラムの活用等を強化してまいりたいと考えております。

(関連質問)

『興石賢一議員』

・観光行政について

『山本雄次議員』
・商工業について

神田 明弘 議員
「日本共産党荏崎市議会」



(主な質問と答弁)

●「原油高騰から市民生活を守る緊急対策」について

質問 原油高騰問題は、まさに国民の暮らしと地域経済を直撃し、日本経済全体の先行きにとつて重大な問題となっており、国が責任をもって緊急対策は、国が責任をもって行うべきですが、同時に地方自治体としてもできる、必要な対策を直ちに行うことあります。

市民からの相談窓口を開設すること。灯油代の援助を行うこと。などありますが、見解を求めます。

また、市民生活を守る緊急対策として、保証人なしで貸し付けられる緊急小口資金の融資を実施すべきだと考えますが、見解を求めます。

▼質問事項

- 1 原油高騰から市民生活を守る緊急対策について
- 2 水道料値上げ問題について
- 3 国保税問題について、国保税の引き下げを
- 4 住民の足確保、路線バス、市民バスの充実改善について
- 5 社会福祉協議会への指導、援助について
- 6 市の活性化対策について
- 7 市の来年度予算についての市長の考え方について

答弁 横内市長

低所得者等からの生活相談については、福祉課において生活保護申請の有無にかかわらず常時行っており、今後も継続してまいります。低所得者向けの支援策として、灯油代の援助については、国や県、他市の動向を見ながら、今後検討してまいります。

また、緊急小口資金の融資については、荏崎市では、社会福祉協議会で十万円までの融資額で実施していますので、ご活用頂きますようお願いいたします。

また、「水道料値上げ問題」について

質問 市長は去る十一月、荏崎市水道事業運営委員会へ料金改定の諮問を行い

した。また、水道事業のより合理的かつ効率的な経営のあり方についても検討願うものであるとしています。

塩川ダム建設に際して県が作った峡北地区の水需給予測



塩川ダム

も大幅に狂い、荏崎市水道事業第八次拡張計画もそのとおりに進んでいない。市民は高くてまづい水を押し付けられ、会計は借金つねになつていく。合理的かつ効率的な経営を市が真剣に望むなら、責任買取り制を含め、全体を見直すことが当然であります。市長の見解を求めます。

答弁 横内市長

大口使用者の需要の横ばい、人口の伸び悩み、節水意識の高揚等により、今後も水需要の伸びは期待できないと推察され、併せて来年より塩川ダム受水費の供給単価の値上げ(九十円が百円)により、営業収支比率の改善は避けては通れない状況でありますので、料金見直しについて諮問したところであります。

なお、買い取り制(日量九千三百³m)の見直しについては、昭和五十六年の議決事項でありますので、将来予測も含め、現状における見直しは考えておりません。

●「国保税問題、国保税の引き下げを」について

質問 今回の国保税一世帯三

万円近い引き上げは、多くの市民生活に深刻な影響を与えています。

市長は所信表明で、荏崎市の財政状況について健全財政を維持していると誇っています。しかし、今市民が最も困っている国保税の税負担について、一般会計から国保会計への繰入れの措置をとらないで、いくら健全財政を誇ってもだめです。一般会計からの繰入れを行い、税負担を軽減すべきですが、見解を求めます。

答弁 横内市長

国保税の改定については、他の医療制度への加入者とパランスを考慮し、特別会計として、独立採算の本来の運営を基本とした国保事業を継続して安定的に運営するため、やむなく改正に至ったものであります。

一般会計からの繰入れについては、給付と負担の原則を基本に、基準に基づいて繰入れをしてありますので、国の基準を超える部分での繰入れは、現在配慮できないことをご理解願います。

小林恵理子 議員
「日本共産党荏崎市議会」



(主な質問と答弁)

●「後期高齢者医療制度」について

質問 七十五歳以上の後期高齢者を他の世代から切り離し、際限がない負担増と差別医療を押し付ける後期高齢者医療制度の大改悪の中身が知らされてくる中で、次々と矛盾が噴出するこの制度は、実施を中止し、国民、自治体、医療関係者などの意見を集め、制度の当否を含めて、全面的に議論をやりなおすべきであります。市として、このことを国に要請すべきでありますが見解を求めます。

また、七十五歳以上の保健事業、基本健診については、各市町村が行うこととなりますが、今までどおりの健診の内容が、自己負担なしで、来

▼質問事項

- 1 後期高齢者医療制度について
- 2 子どもの医療費助成制度の窓口無料化について
- 3 安心して出産できるための妊婦健診の充実について
- 4 中学校の遠距離通学費助成制度の縮小問題について
- 5 小中学校への少人数学級導入について
- 6 学校給食や保育園での職員体制について
- 7 中田町小田川地内国道141号線の拡幅に伴う地域要望について

年度も実施できるかどうかもお聞きします。

答弁 横内市長

国に対する議論のやり直し、実施の中止などの要望については、初年度のことでもあり、情勢を見ながら判断し、必要であるならば市長会を通じ要望していく考えであります。

また、七十五歳以上の高齢者に対する基本健診については、特定健診とあわせ、現行どおり実施していく考えであります。

●「安心して出産できるための妊婦健診の充実」について

質問 山梨大医学部附属病院は、助産師が妊婦健診を行う助産師外来を開設しました。

県でも産婦人科医の負担軽減のため、助産師外来を検討する方向を示していると言われ

の補足の一翼など、有効な手段と理解しておりますが、助産師の確保以外に異常時のサポート対応のための嘱託医や嘱託医療機関の確保が必須となります。産科医、医療機関ともに不足している現状から、助産師による診療は極めて困難であると考えます。

妊婦健診の公費負担について、本市においては、本年七月に五回の助成に拡大したところであり、五回の助成制度の利用促進と普及の周知徹底を図り、受診率向上に努めてまいります。

産後の健診助成については、国、他の自治体の動向を見ながら検討してまいります。

●「学校給食や保育園での職員体制」について

質問 本市では、子どもを取り巻く現場で、非常勤職員の割合が高まっています。小中学校給食調理員や保育園保育士の現場において、その割合が五十%を占めています。

子どもを育てる教育や保育の分野での職員体制を充

実し、人的体制を整えることも重要な課題だと考えますが、市の見解を求めます。

答弁 横内市長

行政職及び技能労務職については、行政改革の視点から、定員適正化計画において、その削減計画が示されたところであり、現状の方向性で対応したいと考えております。

しかしながら、保育園については、少子化傾向の中、施設の統廃合計画を検討している中で、正規職員と非常勤職員の要員構成及び処遇の見直しを検討してまいります。



保育園現場



(主な質問と答弁)

●行政改革「事業仕分け」について

質問 事業仕分けは、行政サービスについて、予算書の項目ごとにこの事業が必要かどうか。必要ならば、行政がやるべきか民間でやるべきかと、順次整理をしていくものです。

事業仕分けを取り入れた自治体では、約一割の予算を削減できたところもあるとのこととです。

本市の行政改革実施計画では平成二十一年度以外外部評価を実施していく方向で検討されていますが、この事業仕分けを取り入れることについての見解を伺います。

答弁 横内市長

事業仕分けについては、予算削減の成果の報告もありま

▼質問事項

- 1 行政改革について
行政評価システムについて
事業仕分けについて
- 2 健康診査事業について
特定健診制度について
婦人科検診について
- 3「いじめ」の問題について
- 4 中心市街地の活性化について
- 5 子育て支援について
こども医療費の完全窓口無料化について
チャイルドシート貸し出し制度について
冷房未設置の保育園への設置について

すが、数字と効率化を基準に行政施策が判定され過ぎるなどの指摘もありますので、今後外部評価を実施していく中で検討してまいります。

●「特定健診制度」について

質問 来年度より、生活習慣病予防のための特定健診、特定保健指導が医療保険者に義務付けられました。

そこで、五年後の健診受診率の目標と達成までの取り組み。現在の基本健診の実施率。目標に達しなかった場合のペナルティー、支援金の加算は最大どのくらいになるのか。特定健診の受診者本人の自己負担について、伺います。

答弁 横内市長

葦崎市国民健康保険者に義務付けられた特定健診制度の

実施を前に、特定健康診査等実施計画書の作成を行っているところであり、五年後の健診受診率の目標六十五%、初年度二十五%で毎年十%ずつ上げていく。特定保健指導の実施率も五年後は四十五%とする。二十二%。

約四千四百万円が加算減算される見込みだが、医療給付費の変動にもよる。現行どおり六十九歳以下を一律千円、七十歳以上は無料とする予定。

●「婦人科検診」について

質問 乳がんは、わが国において最も増加率が高いがんであり、子宮がんは、発症年齢が低下しております。

検診率を上げ、早期発見していくことが死亡率

の減少と医療費抑制への近道であり、本市の婦人科検診の検診率と検診率向上への今後の取り組みについて伺います。

答弁 横内市長

平成十八年度の総合健診及び人間ドック事業における受診率は、乳がん検診十二・二%、子宮がん検診十・九%であります。今後、乳がん検診については、受診率の向上と受診者の利便性を考慮し、総合健診会場で受診できるよう関係機関と調整中であります。



総合健診会場の様子

●「チャイルドシート貸し出し制度」について

質問 本市では、無料で原則一ヶ月を限度に貸与していますが、甲府市では、貸与期間の延長などを図ったところ、貸出数が増大したとのこととあります。貸し出しの原則期間を延長するとともに、申請書に延長する場合の借用理由の記入欄は削除してもよいのではと思いますがいかがでしょうか。

また、既にリサイクルしている自治体もあり、リサイクルして欲しいとの要望もあります。まずは、市が窓口となつて実施してみるのはどうでしょうか。見解を伺います。

答弁 横内市長

昨年までの利用形態は、ほとんどの利用者が更新を何年も繰り返し、私物化したような形であり、本来の緊急的、一時的という目的からかけ離れていたため、更新制度を基本的に廃止しました。したがって、貸し出し制度の見直しは考えておりません。

リサイクルについては、子育て支援センターで既に対応しております。

小林 伸吉 議員
「公明党」



▼質問事項

- 1 市民課窓口の休日開設について
- 2 温暖化対策（CO₂の削減）の取り組みについて
太陽光発電の公共・学校施設への設置について
ゴミ削減について
ミックス紙の回収促進について
大型生ゴミ処理機の設置計画について
天ぷら油の回収とバイオ燃料の市交通機関への利用について
- 3 通学路の安全・安心の確保と対応について
防犯灯の設置について
崖地、用水路へのガードレール、柵の設置について
- 4 防災対策について
避難マニュアルの作成と区民への周知徹底について

（主な質問と答弁）

●「市民課窓口の休日開設」について

質問 税の徴収については、納税相談などのサービスを夜間及び休日に実施し、その成果が上がっていると聞いております。

共稼ぎ世帯が増加している現在、市民が一番利用する市民課窓口の休日開設は、多くの方が以前から願望するところ

です。近隣の市では、自動交付機等の何らかの方法で、休日に住民票、印鑑証明などの交付ができる自治体もあり、

きめ細かな市民サービスの充実のためにも、市民課窓口の休日開設は必要だと考えますが、見解を伺います。

答弁 横内市長

現在、平日にこられない人のための住民票等の発行は、郵送で対応しております。

本年十一月分の処理状況は七百三十一件で、市内の人の請求は皆無であります。

休日開設については、利用状況もほとんどないことから、現状、土日祝日は二名の日直職員で対応しており、この体制で継続したいと考えております。

●「ゴミ削減、ミックス紙の回収促進」について

質問 封筒、メモ紙、レシート紙などのミックス紙は、トイレットペーパーなどに再生

が可能であり、可燃ゴミの減量化につながり、既に取り組んでいる自治体もあります。本市でもミックス紙の資源

化の取り組みと実施が必要と考えますが、見解を求めます。

答弁 横内市長

古紙の再生技術の向上により、新聞紙と折り込みチラシの混合再生が可能となったことを受け、現在の古紙の分別の見直しとあわせ、フィルム張り用紙やメモ用紙、封筒、菓子箱等のミックス紙の収集についても拡大を図っていく考えであります。

●「大型生ゴミ処理機の設置計画」について

質問 十一月に開催された生涯学習フェスティバルで、竜岡町みだいスカイタウン分館の大型生ゴミ処理機の設置によるゴミ減量化実証実験が報告され、家庭の生ゴミの削減につながったとの発表がありました。

生ゴミ



大型生ゴミ処理機

のエコサイクルの構築、家庭の生ゴミの削減につながる大型生ゴミ処理機の設置への取り組みとその計画について伺います。既に設置計画があるようでしたら、その計画を伺います。

答弁 横内市長

みだいスカイタウン地区でモデル的に実施した大型生ゴミ処理機の導入は、一定の成果を上げたことから、過日、各地区に対してゴミ減量化に対するアンケート調査を実施した結果、大型生ゴミ処理機設置希望地区は十三地区あり、各地区とも協議を進めながら、ゴミの減量化、資源ゴミのリサイクル堆肥化等の循環型環

境社会の実現に向けて検討を進めてまいります。

●「太陽光発電の公共・学校施設への設置」について

質問 北杜市明野町と同様に、太陽の恵みの多いここ韮崎市でも、クリーンなエネルギーの太陽光発電は効率もよく、災害発生時に避難所の電力確保にもつながることから、太陽光発電の公

答弁 横内市長

地球温暖化対策の一環として、太陽光発電事業は国を挙げて積極的に進められているところでありますが、投資コストに対するエネルギー効率の観点から、また現在のところ投資回収に時間がかかることなど、公共施設優先で実施しております。したがって、災害時避難所等への設置については、今後状況を見ながら検討していく考えであります。

選挙

恩賜県有財産保護組合議員

平成十九年十二月三十一日をもって任期満了となるため、議長の指名推選により選挙を行い、次の方の当選が決定しました。

『御座石(十五名)』

小澤 時男 (清哲町)
雨宮 正 (〃)
一木 長博 (円野町)
保坂 孝夫 (本町二)
清水 一 (本町一)
清水 正雄 (富士見一)
藤巻 守 (〃)
横内 實男 (本町二)
西野 賢一 (若宮三)
石川 源 (穂坂町)
五味 武俊 (藤井町)
古澤 正和 (〃)
上野 敏彦 (〃)
岩田 清玄 (〃)
小林 孝之 (〃)
『第二御座石前山(十三名)』
加賀爪 萬治 (清哲町)
雨宮 清訓 (〃)
岩下 良一 (本町二)

『老別当(七名)』

雨宮 義親 (清哲町)
石井 錦一 (〃)
鈴木 恒彦 (〃)
保坂 孝夫 (本町二)
清水 一 (本町一)
清水 正雄 (富士見一)
藤巻 守 (〃)
『下広河原(二十一名)』
小澤 時男 (清哲町)
加賀爪 萬治 (〃)
雨宮 清訓 (〃)
雨宮 義親 (〃)
石井 錦一 (〃)
一木 長博 (円野町)
岩下 良一 (本町二)
向山 和博 (本町三)
伊藤 孟男 (下祖母石)
土屋 泰一 (本町二)
堀内 芳文 (中央町)

向山 和博 (本町三)
伊藤 孟男 (下祖母石)
土屋 泰一 (本町二)
堀内 芳文 (中央町)
秋山 泉 (〃)
石川 源 (穂坂町)
五味 篤 (藤井町)
小澤 友重 (〃)
五味 尚彌 (〃)
中込 盛雄 (〃)
秋山 泉 (中央町)
石川 源 (穂坂町)
五味 篤 (藤井町)
小澤 友重 (〃)
中込 盛雄 (〃)
小林 孝之 (中田町)
石原 濟 (神山町)
石原 佑一 (〃)
齋藤 忠文 (〃)

請願

●請願第十九一五号

(市民生活常任委員会)

身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようとする意見書の提出を求める請願

内容

駐車規制及び駐車許可制度の運用見直しに関する警察庁通達を見直し、身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を、従前の対象者を排除しないよう求める。

審査結果 採択

議員提出の意見書

請願と同趣旨の意見書を国の関係機関に提出しました。

の関係機関に提出しました。

●請願第十九一六号

(総務教育常任委員会)

教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書

内容

義務教育費国庫負担制度が堅持されるとともに、教育の機会均等、水準確保のために、国による教育予算の拡充等を求める。

審査結果 採択

議員提出の意見書

請願と同趣旨の意見書を国の関係機関に提出しました。

●請願第十九一七号

(市民生活常任委員会)

後期高齢者医療制度に関する請願

内容

平成二十年四月から実施される後期高齢者(七十五歳以上)医療制度の実施にあたり、医療費に対する後期高齢者が負担する保険料の割合を引き上げないことなどを求める。

審査結果 継続審査

編集後記



選後初の定例会(十二月)において、新議員の一般質問が行われ、活発な議論を交わしました。議員全員が、初心を忘れることなく、四年間の任期を全うすることに新たな決意をいたしたところであります。

平成二十年も早や二ヶ月が過ぎ、新年度がもうすぐ始まるうとしていますが、山積された課題に積極的に取り組み、市民の皆様の期待にこたえて参りたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

なお、今回の議会だよりから、カラー化を図ることとなり、中身も一新する考えであります。読み易い紙面づくりに取り組みたいと思っておりますので、ご意見・ご要望等、気軽に議会事務局までお寄せください。

市議会だより編集委員会

委員長 石井 錦一
副委員長 嶋津 鈴子
委員 清水 六彦
委員 矢崎 一
委員 野口 紘明
委員 一木 長博
委員 横森 宏尹

